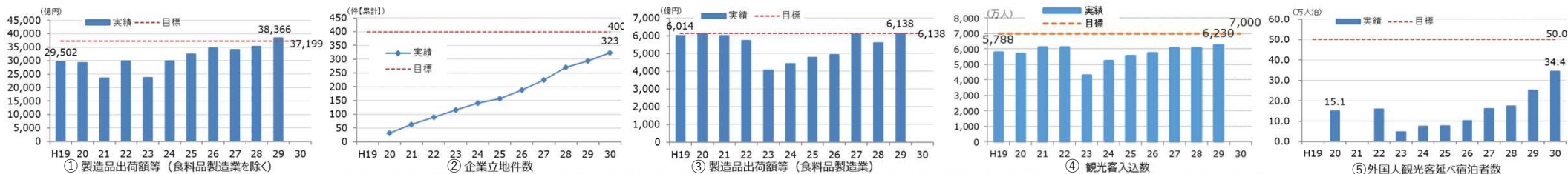


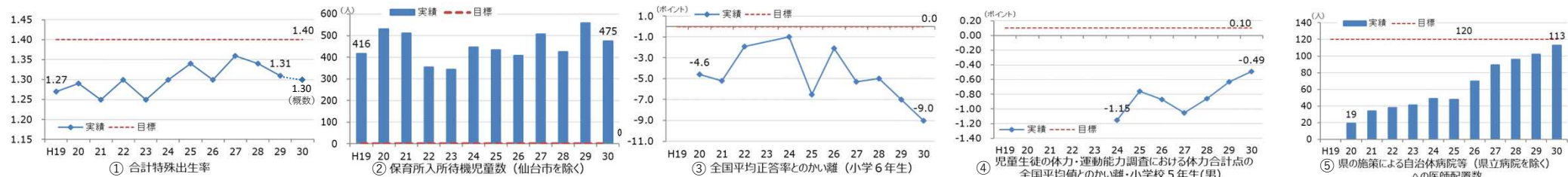
【宮城の将来ビジョン】政策推進の基本方向1 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

- 製造品出荷額等（食料品製造業を除く）は震災等の影響を受けながらも順調に増加し、H29に目標値を越えた。また、企業立地件数も順調に増加している。
- 農林水産業や食料品製造業の生産・出荷額は震災で落ち込んだものの、近年は震災前水準まで回復しつつある。
- 震災で落ち込んだ観光客入込数は、近年過去最高を記録するなど順調に増加しているものの、外国人旅行客宿泊数など、目標の達成に向け更なる取組が必要である。



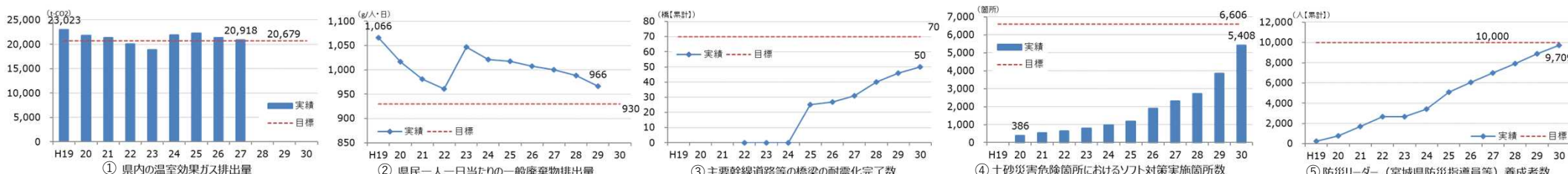
【宮城の将来ビジョン】政策推進の基本方向2 安心と活力に満ちた地域社会づくり

- 合計特殊出生率の低下や待機児童数の高止まりが続くなど、出産・子育て環境を巡る状況は厳しい。
- 児童生徒の学力、体力は全国水準より低い状況が続いており、教育環境のさらなる充実が喫緊の課題となっている。
- 自治体病院等への医師の配置など、医療人材の確保・育成に取り組む、着実に成果を挙げている。



【宮城の将来ビジョン】政策推進の基本方向3 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

- 温室効果ガスの排出量は震災後高止まりの状況にある。また、震災後に一度増加した一般廃棄物の1人当たり排出量は、減少傾向にある。
- 防災面では、橋梁の耐震化や土砂災害警戒区域等の指定、防災リーダーの養成などハード・ソフト両面から対策を進め、着実に成果を挙げている。



【宮城県震災復興計画】

- 災害公営住宅の計画戸数全戸完成、公共土木施設災害復旧事業の完了実績、被災農地の復旧など着実にハード整備が進捗している。
- 主要5漁港における水揚げ金額は、近年は震災前水準まで回復しつつあるが、水揚量の回復に向け、引き続き漁場環境の整備が必要である。
- 仮設店舗から本設店舗への事業者移行率（％）は近年順調に推移しているが、まだ時間を要する状況である。

